

## タモ柾目剥ぎ板の掘座卓の製作について

今回の依頼は、炉縁、炉箱は大工さんが製作して、その上の座卓の製作です。

仕様条件 1. 天板：タモ柾目剥ぎ板 t30。

2. 脚 60\*60 角でムラコシ精工のレッグ FIX-B で固定。
3. 反り防止材を天板厚に揃えて埋め込む。
4. 座卓と炉縁の固定はピン埋込みとする。
5. 塗装：ガラス塗料グラノール艶消し、天板4回塗り。

以上ですが、ここで3. に対する反り防止材の固定方法について少しでも反りにくい構造として変更していただきました。

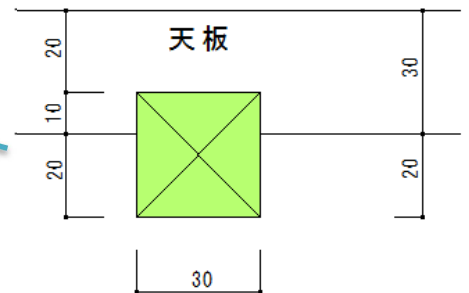
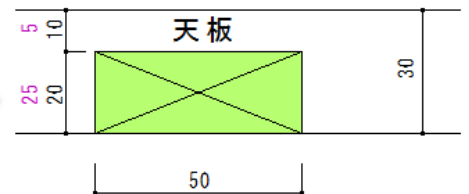
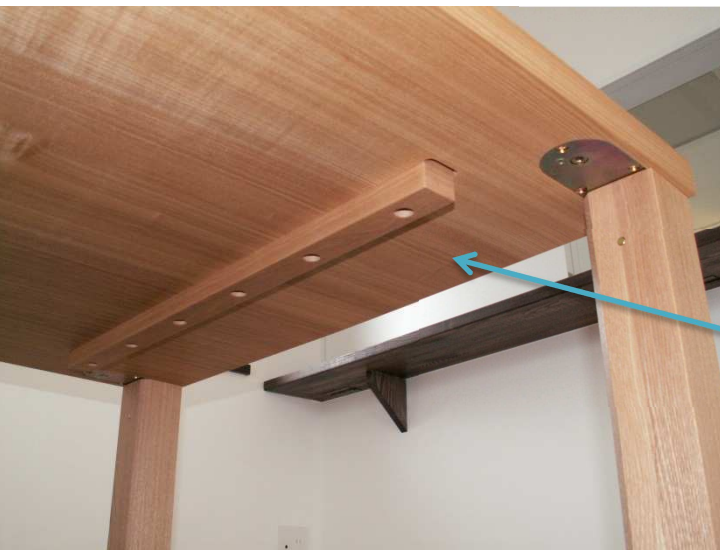


設計者は左画像のように反り防止材 50\*20 を埋込みたいとのことでした。

しかし、この方法でやってきましたが、反り等が多少発生しました。その時の木のクセ、含水率等の問題があるかと思いますが、少しでも安全な方法を取って行きたいと思います。

そこで、デザイン上の問題もあり小さめの 30\*30 の反り防止材を 10mm 天板に埋め込むことをご了解いただきました。

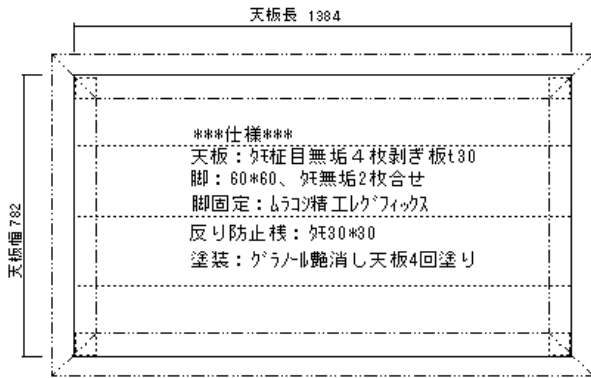
この方法はスッキリしてきれいですが、より安全に考えたい。



今回はより安全に小さめの反り防止で接着せずにビスのみで固定しています。

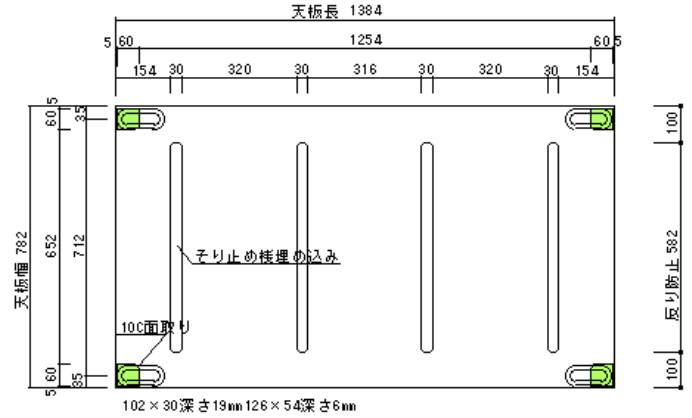
# 確定図 炬無垢座卓

## 天板平面図 4枚剥ぎ

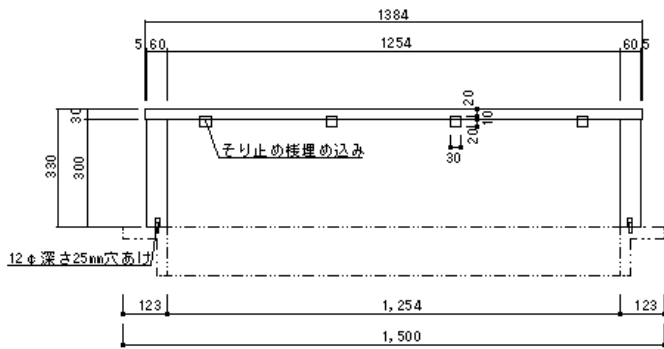


S=1/10

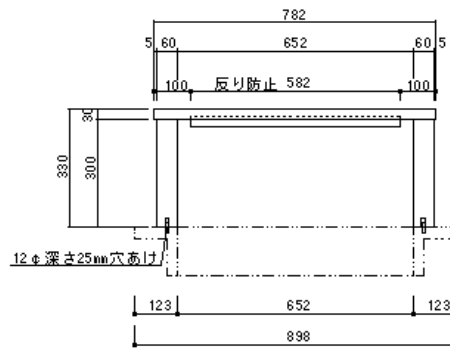
## 天板裏面平面図



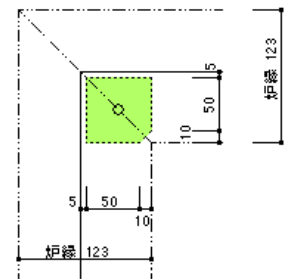
## 長辺正面図



## 短辺正面図



## 炉縁、座卓取り合い図



(株)マルタイ 家具部  
平成23年10月4日



座卓取付け前の炉縁、炉箱状況です。



タモ柾目剥ぎ加工状況です。



炉縁と座卓角足との収まり状況です。





反り防止材、角足の取り付け状況です。角足はタモ t30 板 2 枚合せです。  
この小さな反り防止材ならば気にならないようにも思えますがどうでしょうか。



座卓のセット完了です。

デザイン性の高い形を求めて、天板を薄く見せ、脚は出来るだけスマートに見せ、脚は幕板無しで固定させる。こんなスタイルを求められているようです。

私共では 木でやる場合ですと天板厚は 30mm、脚太さは 60 角で脚固定金具の取付け最小部材条件で決まってしまう。(金物ムラコシ精工レッグ FIX-B)

ご了解下さい。

(株)マルダイ 家具部 Da・monde 鈴木

平成 23 年 11 月 4 日